

習志野市環境基本計画 年次報告書（環境白書）

令和元（2019）年版

用語解説



ご当地キャラ
ナラシド♪



< あ行 >

■アイドリング・ストップ推進運動

駐停車や信号待ち等の間に自動車のエンジンを停止させることで、燃料の節約や二酸化炭素排出の削減を推進する運動。

■アオサ

各地の海岸に生育する緑色をした大きさ 10～30cm の膜状の海藻で、日本に広く分布します。生育条件がそろえば短期間のうちに大繁殖して緑潮（グリーントイド）となります。近年では、谷津干潟で大繁殖し、底生生物や腐敗臭による近隣住民への影響が生じています。

■青潮

東京湾では春から秋にかけて多く見られます。大量に発生したプランクトンの死骸が海底に沈み分解する過程で、酸素の消費により酸素濃度は次第に低下します。この貧酸素状態になった水塊が、陸から沖に向かって吹く風などの気象条件によって、沿岸部の表層に上昇し、海水が青白く見える現象をいいます。青潮の発生により、沿岸部に生息する貝類や魚類が大量に酸欠死することがあります。

■赤潮

海域における富栄養化（閉鎖性水域において、水中の窒素、りん等の栄養塩類が増えすぎてしまうことです。富栄養化になると、水中のプランクトンや植物が異常増殖・繁殖し、赤潮やアオコが発生しやすくなり、水道や漁業に悪影響をもたらします。）現象のひとつで、海中の微小な生物（主に植物プランクトン）の異常増殖により海面が変色する現象をいいます。赤色に変色することが多いですが、

プランクトンの種類により黄褐色や緑色などにも変色することがあります。主として夏に多発し、魚介類のえらをつまらせたり、酸欠などの悪影響をおよぼすこともあります。

■あか筒

筒状の容器にあか剤（くしゃみ剤：ジフェニルシアノアルシン）と加熱剤などが充填され、点火薬に着火するとあか剤が加熱し、これが微粒子となって煙状に拡散する構造を有する有毒発煙筒。あか筒に充填されたあか剤は常温では固体であり、熱を加えない限り微粒子となって拡散することはありません。

■硫黄酸化物（SO_x）

石炭や石油などの硫黄分を含む燃料が燃えて生じた二酸化硫黄（SO₂）、三酸化硫黄（SO₃）の総称です。SO₂は亜硫酸ガスともいい、無色、刺激性の強い気体で、粘膜や呼吸器を刺激し、慢性気管支炎や気管支ぜんそくの原因となります。

■一般廃棄物

廃棄物のうち、産業廃棄物以外の廃棄物をいいます。一般廃棄物はさらに商店、オフィス等の事業活動によって生じる「事業系ごみ」と、一般家庭の日常生活に伴って生じる「家庭系ごみ」に分類されます。

■エコ・ステーション

低公害車の一つである代替燃料自動車や電気自動車などのクリーンエネルギー自動車に燃料や電気を供給する場所の総称です。

■温室効果ガス

地表から放射された赤外線の一部を吸収し、温室効果をもたらす気体の総称で、増加すると地球温暖化を引き起こします。地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF6）、三ふっ化窒素（NF3）の 7 種類が削減の対象となっています。

＜ か行 ＞

■カルバート

水が流れるよう道路の下に埋設された水路のことです。

■環境基準

人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準のことで、環境基本法第 16 条に基づき定められています。現在、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染および騒音に係る環境基準が定められています。なお、ダイオキシン類に係る環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法（平成 11（1999）年法第 105 号）第 7 条の規定に基づき定められています。この基準は行政上の目標であり、公害発生源（工場など）に対する規制基準とは異なります。

■観測井戸

地層の状況を検討し、観測すべき帯水層（実際に地下水を含んでいる地層で、地下水を通しやすくなっているもの。地下水を通しにくい地層は難透水層といいます。）の位置に合致する部分にストレーナーを設けたケーシングを挿入して、目的とする帯水槽の水位や水質などのデー

タを得るための井戸をいいます。

■規制基準（排出基準・排水基準）

工場や事業場などが遵守すべき公害の発生に係る許容限度をいいます。大気汚染防止法では排出基準、水質汚濁防止法では排水基準、騒音規制法および振動規制法では規制基準といいます。

■京都議定書

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的として第 1 約束期間（平成 20（2008）年～平成 24（2012）年）の間に、先進国などに対して温室効果ガスを一定数値（日本は 6%）以上削減することを義務付けた議定書で、平成 17（2005）年 2 月に発効しました。

■国指定鳥獣保護区

鳥獣の捕獲を禁止し、鳥獣を積極的に保護繁殖させる場所として、環境大臣または都道府県知事が指定します。このうち国際的または全国的な見地から重要な区域については、環境大臣が国指定鳥獣保護区に指定します。本市では谷津干潟が国指定鳥獣保護区に指定されています。

■グリーン購入

製品などを購入する際に、環境を考慮し、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することをいいます。

■健康項目

水質汚濁に係る環境基準で、人の健康を保護するうえで維持することが望ましい基準として設定された項目をいいます。カドミウム等の重金属類を中心に 27 項目あります。

■光化学オキシダント

大気中の窒素酸化物や炭化水素が、強い紫外線の作用により光化学反応を起こして発生する二次汚染物質で、オゾン（ O_3 ）、PAN（パーオキシアセチルナイトレート）等の酸化性物質の総称です。このオキシダントが原因で起こる光化学スモッグは、春から夏にかけ日差しが強くて風の弱い日に発生しやすく、目やのどを刺激します。

■公害

事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染、騒音、振動、地盤沈下および悪臭によって、人の健康または生活環境に係る被害が生ずることです。（環境基本法第2条第3項）

■公共用水域

水質汚濁防止法によると、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域およびこれに接続する公共溝きょ、かんがい用水路その他公共の用に供される水路をいいます。ただし、終末処理場を有する公共下水道は除きます。

< さ行 >

■産業廃棄物

事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃えがら、汚泥、廃油など20種類の廃棄物をいいます。大量に排出され、処理に特別な技術を要するものが多く、排出事業者は責任を持って適正に処理する責務があります。

■酸性雨

大気中に排出された硫黄酸化物、窒素

酸化物が雨と作用し、雨水が酸性化されたものです。清浄な雨水は、大気中の炭酸ガスにより水素イオン濃度（pH）5.6程度の弱酸性であることから、pHがそれ以下の雨を酸性雨といいます。

■循環型社会

廃棄物などの発生を抑制し、資源やエネルギーの循環的な利用や適正処分を図ることにより、環境への負荷を低減するシステムを持つ社会のことです。

■浚渫工事

堆積物を取り除く工事のことです。

■水準点

土地の標高を表す標石で、水準測量の基準として用いられます。地盤の変動状況を測定するにはこの水準点を用い、標高の変化を精密水準測量によって測り、変動量を出します。

■生活環境項目

水質汚濁に係る環境基準で、生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として設定された項目をいいます。pH、BOD、COD、DO、SS、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数、全窒素、全リンの9項目があり、河川・湖沼・海域別に、また、利水目的に応じて基準値が定められています。

■生物多様性条約

「生物の多様性（生態系・生物群系または地球全体に、多様な生物が存在していることを示します。）に関する条約」の略称で、1. 生物多様性の保全、2. 生物多様性の構成要素の持続可能な利用、3.

遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を目的とする国際条約です。日本は平成 5（1993）年に締結国になりました（同年条約発効）。

平成 22（2010）年 6 月当時は 192 か国および欧州連合（EU）が締結し、平成 30（2018）年 12 月現在は 194 か国、欧州連合（EU）およびパレスチナが締結しています（米国は未締結）。この条約の締約国会議がほぼ 2 年ごとに開催されています。

■総量規制

環境基準を達成するため、その地域にある工場などの排出源に排出量などを割り当て、工場などを単位として規制すること。現在、大気汚染防止法（硫黄酸化物と窒素酸化物）と水質汚濁防止法（COD、窒素およびリン）に基づく総量規制があります。

< た行 >

■炭化水素類（HC）

炭素と水素からなる有機化合物の総称で、メタン、エタン、プロパン、ベンゼン、トルエン等があります。塗料、溶剤、ガソリン等から直接大気に放出されるほか、自動車などの排出ガスにも含まれています。窒素酸化物とともに、光化学オキシダントの原因物質のひとつです。

■窒素酸化物（NO_x）

燃焼に伴って発生し、その多くは一酸化窒素（NO）として排出され、空気中の酸素に触れると酸化され、二酸化窒素（NO₂）に変化します。

NO は、空気よりやや重い無色の気体で、刺激性はありませんが、血液中のヘモグロビンと結合して酸素の補給を阻害しま

す。NO₂ は、赤褐色、刺激性の気体で、水に溶けにくく、肺深部まで侵入するため、肺に対する毒性が強いです。

■天然ガスかん水

天然ガスを溶存している塩分の濃い地下水で、太古の海水が地下深くに閉じ込められたものです。ヨウ素が多く含まれており、千葉県一帯の上総層群（300～40 万年くらい前に海底で堆積した地層）中に存在しています。

■特別保護地区

鳥獣保護区内で鳥獣の保護またはその生息地の保護を図るため特に必要があると認める区域で、工作物の新改増築、木材の伐採などの開発行為が制限されています。谷津干潟のほとんどが特別保護地区に指定されています。

■トリクロロエチレン等

トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、四塩化炭素などの有機塩素系化合物で、環境基準が定められているものをいいます。主に金属・機械部品の脱脂洗浄剤やドライクリーニング用の洗浄剤として使われていました。これらが原因で全国的に地下水汚染が問題となっています。

< は行 >

■ばい煙

物の燃焼などに伴い発生する硫黄酸化物、ばいじん、そのほか窒素酸化物などの有害物質をいいます。一般的には、ガス状の黒煙をいいます。

■ばいじん

石炭や石油系の燃料の燃焼に伴い発生するスス等をいいます。

■ビオトープ

生物を意味する「Bio（ビオ）」と、場所を意味する「Tope（トープ）」を合成したドイツ語で、野生生物が生息できる空間をいいます。

■微小粒子状物質

浮遊粒子状物質のうち、粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さいものをいいます。健康への影響が懸念されています。

■ふっ素（F）

常温では淡黄色、特異臭のある気体で天然には単体としては産出せず、蛍石、氷晶石などのふっ化物として存在します。土壌、水、空気、さらに動植物体内のほとんどに含まれています。

■ブーンドル湿地

オーストラリアブリスベン市の北約15kmの場所にあります。周囲にモートン湾、ケドロン、キャペツトリー運河、ケドロン排水路およびゲートウェイ幹線道路が走っています。ブーンドル湿地はブリスベン最大の湿地であり、近くのチンチタンバ湿地やデーゴン湿地とともに沿岸や低地に生息する動物の広大な生息地です。

■浮遊粒子状物質

（SPM：Suspended Particulate Matter）

大気中に浮遊している粒子状物質で、代表的な「大気汚染物質」のひとつです。環境基本法に基づいて定められる環境基

準では、粒径 $10\mu\text{m}$ 以下のものと定義しています。発生源は工場のばい煙、自動車排出ガス等の人の活動に伴うもののほか、自然界由来（火山、森林火災など）のものがあります。また、粒子として排出される一次粒子とガス状物質が大気中で粒子化する二次生成粒子とがあります。

■閉鎖性水域

地形などにより水の出入りが悪い内湾、内海、湖沼などの水域をいいます。一般的に水質汚濁が進行しやすくなっています。

■ほう素（B）

自然界に存在し、植物および動物の必須元素です。温泉水や海水には比較的高い濃度で含まれています。

< や行 >

■谷津田

平地に突き出た丘と丘の間に、低湿地が挟まれた地形を谷津あるいは谷戸といい、地名の由来となっています。そこに設けられた田を谷津田といいます。

< ら行 >

■ラムサール条約

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、イランのラムサールにおいて昭和46（1971）年に締結されました。この条約では、湿地を水鳥の生息地としてだけでなく、私たちの生活環境を支える重要な生態系としてとらえ、幅広く保全・再生を呼び掛けています。平成5（1993）年6月の釧路会議において、わが国では本市の「谷津干潟」を含めた5か所が登録されました。

令和元（2019）年 12 月現在、国内の登録地は 52 か所あります。

< 英略語等 >

■BOD（Biochemical Oxygen Demand：生物化学的酸素要求量）

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量で、河川や工場排水の有機汚濁を測る代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が著しいです。

■COD（Chemical Oxygen Demand：化学的酸素要求量）

水中の有機物を酸化剤で化学的に分解した際に消費される酸素の量で、海域、湖沼の有機汚濁を測る代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が著しいです。

■DO（Dissolved Oxygen：溶存酸素量）

水中に溶解込んでいる酸素の量のことです。水中に有機物が増えると、それを分解する微生物に酸素が消費され、溶存酸素は減少します。

■pH（水素イオン濃度）

水素イオン濃度。酸性やアルカリ性を示す指標で、pH7 が中性、それ以下は酸性、それ以上はアルカリ性を示します。

■TEQ（Toxicity Equivalency Quantity：2, 3, 7, 8-TCDD 毒性等価濃度）

ダイオキシン類の中でもっとも毒性の強い 2, 3, 7, 8-TCDD（テトラクロロジベンゾジオキシン）を 1 として、ダイオキシン各種の毒性を数値化したものです。

その数値に各濃度を掛けた値の総和を、ダイオキシン類濃度の TEQ 換算値といいます。

習志野市環境基本計画年次報告書（環境白書）[用語解説](#)

令和元年（2019）年版

編集・発行 千葉県習志野市都市環境部環境政策課
問合せ先 習志野市鷺沼 2-1-1
電話 047(451)1151 （内線 258）
F A X 047(453)9311

